

臨床心理士・臨床動作士 海老名 悠希 (えびな ゆき)

(常磐短期大学幼児教育保育学科 助教 / 福島県緊急スクールカウンセラー)



◎プロフィール

学習院大学文学部心理学科卒業後、お茶ノ水女子大学大学院に進学し、発達臨床心理学を本格的に学び始める。大学院在学中より、都内の精神科、心療内科、救急外来や小中学校、少年鑑別所、児童相談所等での実地研修を経験。精神科の心理士として仕事をスタートする。2005年、いわき市にできた福島県内初(当時)の大学付属の有料心理相談専門施設、「いわき明星大学心理相談センター」の開設に際して、専任カウンセラーとして着任しいわき入り。週6日間、乳幼児から高齢者までの様々な悩み相談に対応する。その中で、いわき市内の保健所、病院、児童相談所、発達障害者援助のNPO団体、包括支援センター、教育機関などと連携関係を深め、次第に保健所の各種事業や講演・企画等での講師業務にも活動範囲を広げるようになる。2009年からは、枯葉剤被害によって今まさに多くの障がい児が生まれているベトナム・ダナンにある師範大学と提携した障がい児支援プロジェクトの企画・運営を開始。2010年4月、茨城県水戸市の常磐短期大学幼児教育保育学科助教に赴任。保育士、幼稚園教諭を目指す学生に対して障がい児援助、臨床心理学的援助の視点、児童福祉に関する講義を担当。同年～福島県いわき市の松村看護専門学校非常勤講師、いわき市内で心理相談室YKカウンセリング開設。教鞭をとりながら、いわき市内を中心に心理相談、講演活動を継続。東日本大震災直前も、いわき市内で乳幼児健診時の心理相談に対応していた。震災後は、「ストレスケア東北ネット」の主力メンバーとして、いわき市内の各避難所にて被災者・支援者に対するリラックス提供のボランティア活動を行っている。また、福島県臨床心理士会より、緊急派遣スクールカウンセラーに任命され、市内3幼稚園のスクールカウンセリングにあたっている。

◎現在の主な社会活動

いわき市保健所精神保健係によるこころの健康相談心理士、いわき市保健所母子保健係による母子健康相談心理士、いわき市教職員組合特別支援部会定期勉強会講師、いわきストレスマネジメント研究会コーディネーター兼講師、水戸ストレスマネジメント研究会講師、虹色かたつむり(ことばの教室保護者に対する子育て支援の会)講師、ストレスケア東北ネット(東日本大震災被災者に対する臨床動作法によるストレスケア支援団体)メンバー

◎一言メッセージ

震災によって、子育てをしていく上でこれまで感じてこなかった不安を多くの方が感じられるようになっていきます。おとなの不安感をどんな子どもも敏感にキャッチして、時にはおとなが驚かされるようなさまざまなやり方で表現します。これまで、大きな災害の後は、大体半年から1年経過した頃にそれまで気付かず蓄積していた精神的ストレスがあらわになってくると考えられていました。しかし、今回の福島県の状況は、「自然災害」だけでなく原発による未知の「人的災害」も同時に降りかかってきており、精神的ストレスの出方や対応の仕方は、これまで言われてきたことがあまり参考にならない時も多いと感じます。

まずはじっくりお話をお伺いしますので、気軽な気持ちでお越しください。震災後、持病の肩こりや腰痛、不眠などが悪化している、と言う方には、からだをゆるめるリラックス体験をご提供します。